

新理事長就任にあたって

本年6月より理事長に就任いたしました小松瑞樹と申します。当法人は設立して24年目を迎えます。地域の皆様の日ごろからのご支援と職員の皆様のご協力で心からの感謝を申し上げます。

当法人は設立より変わらぬ思いとして「共に歩む」の精神を礎に、「希望におきて感謝に眠る一日の幸」を応援しております。誰にでもいつかは訪れる「老い」に対して、切なさや侘しさではなく、笑顔をもって一日一日を共に過ごし、そしてその日にしか感じるこのできない幸せを、ご利用者様、ご家族様、そして職員の皆様とともに、共に歩みながら過ごしていければと願っています。

平成会の設立と同じくして、日本の介護保険制度も2000年より始まりました。社会のしくみや構造は常に変化を続け

ています。時代は絶えず変化を続けようとも、お一人お一人の自立性を尊重し、ご利用者様の心に沿ったご利用者様本位の介護サービスを実践します。生まれ育ったこの地域で安心して過ごしていただくことをお手伝いさせていただきます。

ご利用者様がいくつになられても、喜びや安らぎを持ち続けられる笑顔を大切に、心豊かにする食事の提供を大切にします。そして心地よい環境での癒やしの時間を大切にします。地域福祉の担い手として、地域に根ざしたご利用者本位のサービスを、職員一同皆で実践して参ります。

社会福祉法人平成会 理事長 小松 瑞樹



平成会通信

Vol.10

介護のいまを知り、
未来を創る



すこやかに
夏を楽しむ

2023
夏

特集

平成会が総力を挙げて共催！
KTSM全国大会 地方で初開催！

発行：社会福祉法人平成会 〒399-6460 長野県塩尻市紫雲1298-92 TEL 0263-91-6610 FAX 0263-53-5828 http://www.heisei-hall.jp/

施設だより

グループホーム さとび

「頼られている」と感じる事が利用者様の張り合いに
“楽しみ”と“任される喜び”を日々の時間に織りこんで



お一人お一人に寄り添い 気持ちの深くで関わる

周りを田畑に囲まれた静かな環境。1ユニット9名の小規模だからこそ、心深くまで共有する職員との関わりが生まれます。緑いっぱいの中庭や菜園があり、夏は利用者様と収穫した自家野菜を食事で提供します。

職員から仕事を依頼 役割分担で生活にハリ

生け花を長年されてきた利用者様が活かしてくださったお花の写真です。お一人ずつに合わせた“仕事”を頼んでいます。「いつもありがとうございます。助かってます」と必ず声をかけ、次への意欲を感じてもらおうとしています。



平成会グループの各施設からの
お便りをお届けします！



- 住所** 長野県塩尻市 片丘道下11146
- 開設** 2004年4月
- 定員** 18名(2ユニット)



管理者より

介護をゼロから学びたくて社会人から専門学校へ。何歳になっても勉強に挑戦できることを経験しました。あいさつが何より大事だと、実践し続けています。



伊藤 みどりさん



ご家族と楽しむ恒例行事 再開を心待ちに

ご家族とご一緒に夏祭りは夏の恒例行事でした。利用者様も職員も再開が待ち遠しいです。職員全員が認知症についてもっと理解し、特にユマニチュードの実践を、小さくともしっかり取り組んでいきたいと考えています。

編集後記

我が家の夏の定番レシピといえば「塩丸いかトマト」。塩抜きた適量の塩丸いかを適当な厚さに切る。湯むきたトマトを一口サイズに切る。お好みの量の砂糖であえて出来上がり！塩丸いか+トマト+砂糖??と思った読者の皆様。おしいのでぜひ！



みやざわ

社会福祉法人 平成会

●●● 介護はこころ ●●●

真心と幸せ、そして心の豊かさを感じられる生活を送っていただけるよう、今日一日、その全てに一期一会の精神で臨み、「共に歩む」の法人理念を実践してまいります。



平成会が総力を挙げて共催!

国内・海外から多数参加の KTSM全国大会 地方で初開催!

口から食べる重要性について啓発活動を行うNPO法人「口から食べる幸せを守る会」(略称:KTSM)の第11回全国大会が、平成会の共催で6月4日(日)、岡谷市にて開かれました。会場へお越しの参加者は6割以上が県外から。多くは医療関係者で、看護師、医師、歯科医師、管理栄養士、言語聴覚士などさまざまな職種の方が、食支援や摂食に関する講演などを通して、未来を見据えた食支援の進展を考える大会となりました。また、6月7日から約3週間、48もの関連コンテンツがオンデマンド配信され、学びを深める機会となりました。



Kuchikara Taberu Shiawase wo Mamorukai



KTSM ↔ 平成会 共に取り組み続け、 全国大会共催が実現!

平成会では平成29年から毎年、小山珠美先生による研修を行っています。小山先生はじめインストラクターの先生方を招いて、安全・安楽・自立を目指す最先端の食事介助を学び、各職場での実践に努めてきました。これまで首都圏で行ってきたKTSMの全国大会を「今後は地方で」との意向を受け、その初回に平成会が特別協賛させていただくこととなり、長野県での全国大会開催が実現しました。



KTSMでの学びを
地域へ還元!

正しい 食事介助術 のススメ 開催!



岡谷市家庭介護者支援事業は、家庭で介護している方、介護に関心のある皆さんを対象にした介護者教室です。その事業の一環として、「正しい食事介助術のススメ」講座が、6月28日に介護老人福祉施設さわらび(岡谷市)で開催されました。参加されたのは岡谷市外も含めた一般市民の方10名と、実習生2名。講師を務めた濱江里佳さん(養護老人ホーム寿和寮施設長)は、KTSM認定食事サポーターとして、KTSMで学んだことを地域の皆さんに伝えようと取り組んでいます。

講師より

ご家族を介助している方や、自分自身むせることが増えて心配な方、介護経験のある方など、さまざまな理由でご参加いただいた皆さん。ハンズオン(体験学習)は大変盛り上がり、「スプーンの遣いで飲み込みやすさが違うことを知った」「高カロリーゼリーのゼリーや栄養補助飲料がこんなにおいしいとは」「姿勢、あごの位置、舌のどこに物を置いたら飲み込みやすいのかなど、ちょっとしたことで全く違うので驚いた」などの感想が聞かれました。自分自身もご家族も、いつまでもおいしく口から食べたいと願うからこそ、熱心に受講していただき、たいへんうれしく思いました。質問も多く飛び交い、また心配事やいろいろな想いをお話しくださる方もおり、時間が足りないくらいでした。



台湾とつなぎワールドワイドに

台湾での食支援の取り組みについて、現地を代表する専門家を交えて紹介する日台合同シンポジウム(録画配信)。それを受けて会場ではディスカッションが行われました。



協賛企業ブース大盛況

会場には今大会の協賛各社から出展があり、参加者は各メーカーの製品PRなどを興味深く見て回りました。



前日は現地実技セミナー

6/3(土)には、認知症のある要介護高齢者への食事介助の実技セミナーを開催。少人数グループに分かれ、食事環境や姿勢の調整と介助方法などのスキルを共有しました。



会場+webの
ハイブリッド開催

岡谷市の会場の様子をウェブでリアルタイム配信する、全国大会で初の「ハイブリッド開催」を試みました。入念な準備を重ねて臨んだ当日はウェビナー視聴者にも高評価でした。



デモもわかりやすい映像で

食事介助のデモンストレーションは、2方向からのカメラ映像をスクリーンに映し、会場のすべての参加者が見やすく、細部までわかりやすいように配慮。



ハンズオンセミナー

デモンストレーションを見ながらの体験実習は、KTSMのアドバイザーから直接指導を受けられるまたない機会。ポイントの理解が深まります。

INTERVIEW

“口から食べる”を地域全体で支援する未来へ

今回、オンデマンドプログラムの中で、平成会の介護福祉士さんが事例発表をしてくださりました。医療従事者が居る中で介護士が発言する機会はあまりないのですが、今後は医療も介護も一緒になって、そこに当事者や家族、市民、関係するメーカー企業など、さまざまな立場の人が連携することが必要。口から食べることへの支援を、地域全体へ広げたいんです。

口から食べることの意義を理解したり、それを支援できる人材を増やすことが、私たちの目的。実践力のある人材を増やすことに力を入れています。そのためには、多様な団体やメーカーとの情報共有、そして当事者や家族の方たちの参加も大切です。講演などの普及活動も必要ですが、食べさせる技術を持ち、それを進化させて発表してくれる人を増やしたいですね。

NPO法人 口から食べる幸せを守る会
理事長
小山 珠美 先生



平成会タイムス



TOPICS
1

平成会の“ワークライフバランス”

子育てを応援！ パパでもママでも育休取得

平成会では多角的に“働き方改革”を進めています。今回はその中で「育児休業」について、職員の生の声をお伝えします。平成会には、男女ともに育児休業を取得できる、働きやすい職場環境があります。男女関係なく、子育て中の職員も長く活躍できる職場を目指して、法人を挙げて取り組んでいます。

コレカラ育休

来年1月に
第4子の
育休取得予定



和木 美咲さん

介護老人福祉施設さわらび

「出産後も仕事をしたい」ともともと思っていたので、1人目の時から育児休業を取りました。1人目は慣れない育児で日々バタバタと時間が過ぎましたが、そんな中でも子どもたちの成長を感じながら楽しく生活。職場復帰の前は、仕事から約1年間離れた不安はもちろんありましたが、電話をもらったり、コロナ禍前は職場に行って相談もできたので、安心して復帰できました。育休中は、仕事をしている時の生活とはまた違う、とても濃い時間を過ごすことができ、育休を取ってとてもよかったと思います。4人目でも安心して育休が取れる職場環境に感謝しています。

とったヨ育休

第2子出産にあたり
協力しなければと、
初めての育休！



澤田 翔太郎さん

介護老人保健施設わか

育児休業前は息子(第1子)も何かと「ママがいい」と言いましたが、育休中にお互いもっと親密になり、今では以前のようなことはなくなりました。生まれたばかりの2人目の成長を感じながら過ごせた時間ももちろん貴重でした。ちょうど育休に入った後、施設でコロナが広がり、大変な中で休んでいることに申し訳なさも…。復帰後は、社会人として施設職員として、休業した分の仕事は返していきたいと感じました。実は私自身、育休取得には抵抗がありましたが、育休経験のある先輩のすすめもあり「必要なことだ」と決心。仕事から離れて家庭だけを考え、家族とゆっくり過ごすという、貴重な経験ができました。

TOPICS
2

取り組みを評価する制度

令和4年度の職員表彰をお知らせします



平成会には職員表彰制度があります。このほど令和4年度の授賞式があり、職員および事業所の功労をたたえ、表彰状と賞金が授与されました。

車両事故ゼロ事業所表彰

通所サービスの実施事業所において、1年を通じて車両事故・人身事故ゼロを達成した事業所を評価します。

温泉デイサービス 湯けむり

防火防災最優秀事業所表彰

法定で実施する年2回の防火防災訓練において、他の事業所の模範となる訓練内容である事業所を評価します。

養護老人ホーム 寿和寮 グループホーム 寿和寮 通所介護事業所 無暦日庵

職員定着優秀事業所表彰

年間を通じ、最も職員の離職率が低かった事業所を評価します。

介護老人保健施設 わかな グループホーム 緑



TOPICS
3

効率的なコミュニケーションのために

インカム導入へ向けて試験運用スタート

介護施設では職員同士のコミュニケーションが重要です。介護・看護・事務職員の間で速やかに連絡を取ったり職員全員に共有したいケースが多く、これまでの内線電話や館内放送では全員と情報共有するまでに時間と手間がかかることが、業務効率化を進める上での課題でした。その課題を解消するために、養護老人ホーム寿和寮(茅野市)では、インカム(通信装置)の試験運用を行いました。

職員からは「インカムはいつでも全員に伝達できるため、担当者を探しに施設内を動き回る必要がなくなった」との感想が聞かれました。トラブルが起きた際も、利用

者様のそばを離れることなく他職員の助けを呼ぶことも可能。大きな声で職員を呼ぶなどして利用者様を驚かせることも少なくなりました。介護現場は限られた人数で業務に取り組むことも多く、手が離せない場面もあるため、些細な質問や連絡はインカムで投げかければすぐに返答をもらうことができ、1人対複数人での会話もできるので、情報の伝達が楽になるなど、前向きな意見が多く寄せられました。

法人としては、外国人や新人など経験の浅い職員が1人では判断できないことが起こった時に、速やかに先輩職



映像も送れるなど、多機能なスマホアプリ型のインカムを使用。試験運用中はアプリ単体ですが、正式導入の際はイヤホンマイクと一緒に使います。

員から指示を仰ぐことができ、いつでも誰でも適切なケアができることを期待しています。試験運用での経験を踏まえ、寿和寮では今後本格導入を予定しています。

平成会 研修センターです！

平成会には、各種資格取得や技術習得を目指す人を応援する「平成会研修センター」があります。開催中の研修についてご紹介します。



#03 先進事例 他事業所見学会

令和5年度からの、注目の新研修がいよいよスタート！ 先進事例に取り組む法人内の事業所へ実際に赴き、技術や知識を身に付けるだけでなく、事業所の雰囲気や職員の様子、工夫、取り組みなどを知るよい機会となります。第1回は、最先端の食事介助技術の普及が進む有料老人ホームせせらぎで開催しました。利用者様・上司・同僚、いつも同じ顔触れの職場は視野が狭くなりがち。“当たり前”の環境から外に出て、新たな気づきの場になると期待されます。



参加職員の感想 /

他の事業所を見学する機会が今までなかったので、たいへん刺激になった

KTSM導入のメリットや大変だったことなど、具体的にリアルな部分に触れられた

他事業所の職員が意識していることや工夫を知った。自事業所の業務改善につなげたい

業務についての意見交換ができ、有意義な時間だった

Photo Diary

フォトダイアリー

2023
SUMMER



インドネシア料理で旅行気分

特定技能外国人のアニタヌルハママさんお手製の昼食。ワンプレートのおかずは、ココナッツミルクで炊いたご飯と一緒に。利用者様も喜んで召し上がっています。

箕輪町 グループホーム わかな



ピカピカの野菜が採れました!

育てているピーマンやナスをご自分で収穫して素揚げに。夏野菜のカレーに変身しました!他にもキュウリやトマトなど、皆さま収穫を楽しみにされています。

松本市 グループホーム なごみ



田辺トマトのクリームパスタ

諏訪市城南の「田辺トマト」を使用したエビのトマトクリームパスタを提供しました。利用者様からは「ソースがおいしいね!」などご好評をいただきました。

諏訪市 介護老人保健施設 掬水



セタ行事

7月7日は七夕にちなんだメニューをご用意しました。七夕そうめんは、とろろを乗せてオクラを飾り、星形の麩と三つ葉のお吸い物は寒天にしました。

松本市 とんりの縁側 おかだ



辰野町の名物「ほたる井」

ご当地グルメ「ほたる井」を提供しました。卵の黄身をホタルが発光している様子、野菜を草むらに見立てています。おやつには「ほたるまんじゅう」を提供しました。

辰野町 介護老人福祉施設 福寿苑

注目! の ニュース

平成会互助会の 研修旅行が再開!



新型コロナウイルス感染症の影響により自粛していた互助会研修旅行事業を再開し、このほど第1弾「東京ディズニーリゾート®への旅」を実施しました。



コロナ以前の同事業と比べて大幅に助成額を増額しての企画で、募集定員を大きく上回る応募があり、互助会活動に対する職員の関心と期待の大きさを実感しました。

今後はインドネシアまたはフィリピンへの旅も計画中です。平成会では2つの国から多くの技能実習生、特定技能外国人を受け入れており、それぞれの機関の方々に現地ガイド、コーディネートをお願いする予定です。外国人スタッフの母国を知ることは、一緒に働く上で大変意味があると考えます。期待が膨らみます!

昨年インドネシアから来てくれた2人と一緒に参加しました。数年ぶりの互助会旅行。職場の仲間と楽しむ時間が復活してうれしいです!

いろいろ乗ったのでお腹が痛くなっちゃった。でも楽しかった!また行きたいです。



ディズニーはきれいな所です!訪れることができるとてもうれしい。

初めてローラーコースターに乗りました。怖かったけれど楽しかったです。



うちの
施設の

自慢のこんだて

JIMAN NO KONDATE

vol. 10

岡谷市

グループホーム 風薫



カラフル ゼリー寄せ

「七夕の特別食」の一品としてお出ししています。暑い夏に見た目も涼しげで、食欲がなくても食べやすいようにゼリー寄せにしました。利用者様にも「きれいだね」と好評です。簡単にできるのでいろいろな旬の野菜や食材で作ってみてください。

材料

エビ(サラダ用) 水..... 1,800ml
えだまめ(冷凍) 白だし... 200ml
コーン(冷凍) アガー... 40g

つくりかた

- 鍋に水・白だしを入れ火にかける
- 1にアガーを、ダマにならないよう泡立て器でかき混ぜながら少量ずつ加える
- アガーが溶け沸騰したらさらに1分ほどかき混ぜて火を止める
- パットに3を流し入れ、冷凍のままのえだまめ・コーンを全体に散らし、ゼリーが少し固まってきたらエビを均等にのせて冷蔵庫で冷やす
- 4が固まったら1人分に切り分ける

つくったひと

コバヤシ ナオミ
小林 直美

